

令和4年度宮崎県肝炎対策事業実績について

1 肝炎ウイルス検査の実績

(1) 肝炎ウイルス検査事業（※県保健所による実施） 平成19年度～

- ア 実施主体 宮崎県
- イ 対象者 検査を希望する者
- ウ 検査費用 無料
- エ 実績 別紙 表1：宮崎県肝炎ウイルス検査事業検査実績 参照

(2) 緊急肝炎ウイルス検査事業（※検査協力医療機関での実施） 平成20年度～

- ア 実施主体 宮崎県、宮崎市
- イ 対象者 20歳以上で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方
- ウ 検査費用 無料
- エ 実績 別紙 表2：緊急肝炎ウイルス検査事業検査実績 参照

(3) 肝炎ウイルス検診事業（健康増進事業） 平成19年度～

- ア 実施主体 市町村
- イ 対象者 満40歳となる者及び41歳以上で過去に検診歴がない者
- ウ 検査費用 自己負担の徴収は、各市町村の判断による
- エ 実績 別紙 表3：肝炎ウイルス検診事業検査実績（宮崎市、串間市、綾町を除く）参照

○上記のうち、肝炎ウイルス検診の無料検診 平成23年度～

ア 目的

市町村が実施している肝炎ウイルス検診において、40歳以上5歳刻みの方を対象として、受検に係る自己負担の軽減が可能な個別勧奨メニューを追加し、未受検者に対する受検促進の一層の強化を図るもの。

イ 対象者

40歳以上で5歳刻みの年齢に達するもの

ウ 実施市町村：19市町村

都城市・延岡市・日南市・日向市・三股町・国富町・高鍋町・新富町・西米良村・木城町・川南町・都農町・門川町・諸塚村・椎葉村・美郷町・高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町

(4) 妊婦一般健康診査受診時の肝炎検査

- ア 実績 別紙 表4：妊婦一般健康診査による肝炎検査 参照

2 肝炎医療の体制等

(1) 肝炎対策協議会の設置 平成20年度～

本県では「肝炎対策懇話会」の名前で設置

(2) 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会の設置 平成21年度～

本県では宮崎大学医学部附属病院に設置

(3) 肝疾患に関する研修会 平成20年度～

県内各地域の医療従事者へ肝炎治療に係る最新の情報を提供し、地域における適切な肝炎の医療提供体制の確保を図ることを目的として実施

ア 実績 表5：肝疾患に関する研修会参加者数 参照

(4) 肝炎医療コーディネーターの養成 平成24年度～

ア 目的

肝炎ウイルス検査及び治療を実施する機会のある医療機関や行政機関の保健師や薬剤師等を対象に研修会を実施し、B型及びC型肝炎患者を適切な医療につなぐとともに、継続的な治療を支援する者の養成及びキャリアアップを図り、県内の肝炎支援の強化を図る。

イ 実績 別紙 表6：肝炎医療コーディネーター研修受講者数（複数回受講者含む） 参照
令和4年度は、2月に養成研修会、3月にキャリアアップ研修会をオンラインにて開催予定（肝炎に関する講演のほか、コーディネーターの活動事例報告、グループワーク等を予定）

(5) 肝疾患診療ネットワーク 平成21年度～

肝疾患診療連携拠点病院の指定：宮崎大学医学部附属病院（平成21年7月指定）

肝疾患専門医療機関の指定：48医療機関（令和4年12月1日現在）

肝疾患協力医療機関の指定：40医療機関（令和4年12月1日現在）

(6) ウイルス性肝炎重症化予防事業 平成26年度～

ア 目的

ウイルス性肝炎の陽性者に対する初回精密検査費用の助成や、ウイルス性慢性肝炎患者、肝硬変患者に対する定期検査の費用の一部を助成することで、早期治療につなげ、重症化予防を図る。

イ 対象者

初回精密 検査	1年以内に
	① 保健所または市町村の健康増進事業
	② 県及び宮崎市の肝炎ウイルス検査事業委託医療機関での肝炎ウイルス検査
	③ 職場検診の肝炎ウイルス検査

	④ 妊婦健診の肝炎ウイルス検査 ⑤ 手術前検査の肝炎ウイルス検査 で陽性と判明した方
定期検査	肝炎ウイルスの感染を原因とする慢性肝炎、肝硬変及び肝がん患者の方 (治療後の経過観察を含む、治療費助成の対象者を除く)

ウ 実績 表7：ウイルス性肝炎重症化予防事業検査費用助成件数 参照

(7) 肝炎治療費助成事業

ア 対象者

B型及びC型肝炎ウイルスを除去するために行うインターフェロン治療、インターフェロンフリー治療並びにB型肝炎ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療で、保険適用となっている治療を受けたもので、医療保険各法又は高齢者の医療の確保に関する法律の規定による医療に関する給付を受けているもの。

イ 自己負担限度額

世帯の市町村民税（所得割）課税年額が、

235,000 円以上の場合：20,000 円

235,000 円未満の場合：10,000 円

ウ 実績 表8：肝炎治療費助成事業実績（新規の受給者数） 参照

(8) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（平成30年12月～）

ア 対象者

以下をすべて満たす方

- ・ B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変の診断
- ・ 年収が概ね370万円以下
- ・ 肝がん・重度肝硬変の治療研究への協力
- ・ 保険医療機関が実施する入院及び通院医療（保険医療）等について、過去1年間で高額療養費の限度額を超えた月が既に2月以上ある方

（通院は、分子標的薬を用いた化学療法及び肝動注化学療法が対象）

イ 自己負担限度額

月額1万円

ウ 実施要領の改正（令和3年4月1日改正）

- ・ 通院治療を助成の対象に追加
- ・ 助成の開始月の短縮（高額療養費の限度額を超える月の3月目から助成（1月短縮））

エ 実績 表9：肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業実績（新規の受給者数） 参照

3 肝炎に関する普及啓発

(1) 県ホームページへの掲載

- ア 宮崎県の肝炎対策について
- イ 肝炎治療費の助成制度について
- ウ 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業
- エ 宮崎県肝炎検査費用助成（ウイルス性肝炎重症化予防事業）について
- オ 宮崎県肝疾患診療ネットワークについて
- カ 緊急肝炎ウイルス検査事業の実施について
- キ 保健所で無料・匿名で受けられるB型・C型肝炎、エイズ、性感染症、HTLV-1の相談及び検査について

(2) 令和4年度 みやざき肝炎デーの取り組み

ア みやざき肝炎デー2022の実施

宮崎大学医学部附属病院肝疾患センターと共同で開催

- ・ 肝臓専門医による出張無料相談会の実施
(令和4年10月16日(日))
- ・ 肝炎に関する知識の普及啓発、肝炎検査受診勧奨等に係るパネル展
(令和4年10月10日(月)～令和4年10月15日(土))

イ 県庁ホームページのほか、SNS等でも広報を実施

ウ 資料 図1：みやざき肝炎デー2022 参照

(3) 妊婦健診の肝炎ウイルス検査で陽性となった方に配布するリーフレットの作成

- ・ 県産婦人科医会の協力のもと、妊婦健診実施医療機関に対し、陽性者がいた際のリーフレットの配布及び初回精密検査の受診勧奨に係る依頼（40医療機関宛）

4 肝炎患者等及びその家族等に対する相談支援や情報提供

肝疾患相談・支援センター（宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター）の設置 平成21年度～

5 第7次宮崎県医療計画 肝炎対策部分数値目標進捗状況

項目		目標値	進捗状況(※2)
		(2023年度)	(2022年3月31日現在)
市町村健康増進事業、保健所、委託医療機関における肝炎ウイルス検査受検者数	B型肝炎	100,000人(※1)	50,471人(※3)
	C型肝炎	100,000人(※1)	49,912人(※3)
肝炎ウイルス検査陽性者への受診勧奨を行う市町村数		全市町村	16箇所
肝炎医療コーディネーター配置状況	保健所・市町村	34/34箇所	29/34箇所
	肝疾患専門医療機関	65/65箇所	30/48箇所
	肝疾患協力医療機関	70/70箇所	24/40箇所
肝疾患に関する研修会の受講者数		450人以上(※1)	201人

※1：2017年度から2022年度の合計

※2：進捗状況の値は2017(H29)からの計

※3：2022年度の暫定数含む

表1：宮崎県肝炎ウイルス検査事業検査実績

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計	
B型	検査数	744	829	506	407	350	450	482	359	265	236	330	278	142	177	5,555
	陽性数	3	1	8	3	6	4	6	0	0	5	4	2	0	0	42
	陽性率	0.4%	0.1%	1.6%	0.7%	1.7%	0.9%	1.2%	0.0%	0.0%	2.1%	1.2%	0.7%	0.0%	0.0%	0.8%
C型	検査数	794	816	505	403	349	436	477	341	251	229	309	270	139	176	5,495
	陽性数	1	2	3	3	1	6	0	1	2	1	1	0	0	1	22
	陽性率	0.1%	0.2%	0.6%	0.7%	0.3%	1.4%	0.0%	0.3%	0.8%	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%	0.4%

表2：緊急肝炎ウイルス検査事業検査実績

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計	
B型	検査数	62	3	147	161	93	234	926	10,247	5,679	4,028	3,676	4,289	3,374	3,569	36,488
	陽性数	0	0	2	3	2	3	13	75	32	41	18	26	23	17	255
	陽性率	0.0%	0.0%	1.4%	1.9%	2.2%	1.3%	1.4%	0.7%	0.6%	1.0%	0.5%	0.6%	0.7%	0.5%	0.7%
C型	検査数	68	3	145	164	94	234	926	10,257	5,694	4,046	3,681	4,289	3,398	3,588	36,587
	陽性数	0	0	3	4	2	2	5	22	14	3	9	4	4	2	74
	陽性率	0.0%	0.0%	2.1%	2.4%	2.1%	0.9%	0.5%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%

表3：肝炎ウイルス検診事業検査実績（宮崎市・串間市・綾町を除く）

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3※	合計	
B型	検査数	4,238	3,411	2,510	8,423	8,720	8,423	8,329	8,854	7,154	6,141	7,099	6,861	4,980	5,332	90,475
	陽性数	45	34	29	98	73	89	50	79	65	47	50	58	31	33	781
	陽性率	1.1%	1.0%	1.2%	1.2%	0.8%	1.1%	0.6%	0.9%	0.9%	0.8%	0.7%	0.8%	0.6%	0.6%	0.9%
C型	検査数	4,235	3,417	2,477	8,367	8,693	8,389	8,304	8,827	6,586	5,845	6,752	6,862	4,985	5,366	89,105
	陽性数	29	21	4	70	34	24	23	19	19	14	15	9	6	13	300
	陽性率	0.7%	0.6%	0.2%	0.8%	0.4%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%

※R3年度は暫定値

表4：妊婦一般健康診査による肝炎検査

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3(※1)
受診者数	9,093	8,872	8,542	8,144	11,214	10,794	
B型	陽性数	21	21	22	14	23	17
	陽性率	0.23%	0.24%	0.26%	0.17%	0.21%	0.16%
C型	陽性数	17	13	13	17	11	13
	陽性率	0.19%	0.15%	0.15%	0.21%	0.10%	0.12%

※1 集計中

表5：肝疾患に関する研修会参加者数

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
参加者数	67	66	44	72	37	28	20	

※令和4年度研修は、2月～3月実施予定

表6：肝炎医療コーディネーター研修受講者数（複数回受講者含む）

(名)

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
養成研修	122	170		113	101	68	41	34	32	13		694
キャリアアップ研修			50	58	24	53	29	25	24	5		268

※令和4年度研修は、2月～3月実施予定

表7：ウイルス性肝炎重症化予防事業検査費用助成件数 (件)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
初回精密検査	5	13	7	10	12	5	5	5	2
定期検査	3	2	10	69	64	60	41	51	17
	うち、B型	2	1	10	9	18	14	26	5
	うち、C型	1	1	0	60	46	27	25	12

R4は、R4.12月末時点

表8：肝炎治療費助成事業実績（新規の受給者数）

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
インターフェロン治療	513	237	229	128	155	144	97	8	2	3	0	0	0	1	0
核酸アナログ製剤治療			494	107	104	133	126	156	132	144	98	102	78	79	75
インターフェロン非治療							235	859	353	242	159	117	96	86	62

※ R4は、令和5年1月末時点

表9：肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業実績（新規の受給者数）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	計
肝がん	0	1	2	4	0	7
非代償性肝硬変	0	0	0	0	0	0
肝がん・非代償性肝硬変併発	1	1	2	0	1	5
年度計	1	2	4	4	1	12

※ R4は、令和5年1月末時点



図1：みやざき肝炎デー2022（左：無料相談テント、中央、右：パネル展）

宮崎県の肝炎医療費助成制度

・肝炎初回精密検査費用助成制度

肝炎検診、妊婦健診・術前の肝炎ウイルス検査等で陽性と判定されてから1年以内の方が精密検査を受ける際に費用助成が受けられます。

・肝炎定期検査費用助成制度（年2回まで）

指定された医療機関において定期検査を受けた場合、費用助成が受けられます。

・肝炎治療費助成制度

ウイルス性慢性肝炎または肝硬変の患者のうち、県が承認した方に受給者証が発行され、一定の自己負担額（月額1～2万円）で治療が受けられます。

- ・ 申請窓口は、お住まいの地域の保健所です。
- ※ 宮崎市にお住まいの方は、中央保健所が窓口です。
- ・ 各助成制度についての詳細は、宮崎県HPに掲載していますので、ご覧ください。

宮崎県 肝炎

検索

【肝炎に関するお問い合わせ】

宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター 電話相談窓口

TEL 0985-85-9763

（月～金：9時～17時（祝日を除く））

【医療費助成に関するお問い合わせ】

宮崎県福祉保健部健康増進課 がん・疾病対策担当

TEL 0985-26-7079

お母さんと赤ちゃんの
健康のために
～肝炎のおはなし～

妊婦健診の肝炎ウイルス検査で
陽性となった方へ

妊婦健診ではお母さんと赤ちゃんの健康管理のために
肝炎ウイルス検査を実施しています。

B型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスのふたつです。

肝炎ウイルスのこと、これからの検査について
このリーフレットでご案内します。



肝炎ウイルス陽性ってどういうこと？

HBs抗原が陽性 ⇒ B型肝炎ウイルスに感染しています。

HCV抗体が陽性 ⇒ C型肝炎ウイルスに感染している
可能性があります。

肝炎ウイルスに感染していたらどうなるの？

B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスは、主に血液や体液から感染します。
感染したまま放っておくと、慢性肝炎に移行する場合があります。

慢性肝炎は肝細胞が壊れていき、働きが悪くなる病気です。

症状は出にくいですが、さらに進行すると**肝硬変**や**肝がん**になることも
あります。

赤ちゃんへの感染防止のために

お母さんが肝炎ウイルスに感染していると、妊娠中や出産時に赤ちゃん
に感染することがあります。

感染を防ぐには、時期に応じて、検査やワクチン投与を行う方法があり
ますので、かかりつけの医療機関に相談してください。

お母さんの健康のために

B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスは飲み薬による治療でウイルスを
排除したり、病気の進行を抑えることができます。

まずは、詳しい検査や治療の相談をするため、早めに**初回精密検査**を
受けましょう。

初回精密検査を受けられる医療機関は、妊婦健診を受けた医療機関な
どから紹介してもらいましょう。

肝炎ウイルスは肝臓の病気を起こすウイルスです。
結果が陽性の場合、ウイルス感染があるか
精密検査で確認する必要があります。

必ず肝臓専門医を受診してください。

肝炎検査には**検査費用の助成**があります。
(詳しくは、リーフレットの裏面をご覧ください。)

肝炎についてもっと調べたいとき、

肝炎の専門医療機関を調べたいときは

こちらを **検索** してください

・肝炎情報センター



・宮崎県肝疾患ネットワーク



・肝ナビ（肝炎医療ナビゲーションシステム）

